

令和5年4月12日

## デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

有里動物病院有限公司

### 1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度を向上させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の3点より、競合優位性が高まります。

#### A) 労働生産性の向上

本事業による院全体のDX化の大幅推進により、レントゲン撮影や顕微鏡検査の時間が短縮され、検査効率が向上します。さらに、ネットワーク接続を利用することで、尼崎院、東灘院にそれぞれ在籍する専門医による読影が迅速に行えるようになるため、診療効率が大幅に改善されます。

#### B) 見える化の推進

DX化により、これまで提示が困難だった耳の内部や前眼部の画像をオーナー様にお見せすることが可能になり、説明の分かりやすさが向上します。これにより、更なる獣医師とオーナー様間の適切なコミュニケーションが実現されます。

#### C) 安全性の向上

本事業により、患者動物の心電図解析が強化され、不整脈の検出が効率的に行えるようになります。また、医療画像の精度向上やノイズ低減により、より正確な診断が可能となり、安全性がさらに向上します。

### 2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「院内のDX化を大幅に進めることで、検査精度・効率を向上/  
見える化を推進し地域の獣医療を牽引する」

先進的な機器を導入しネットワーク接続を活用することで、尼崎院と東灘院の獣医師が専門知識を活かし相互的な画像検査の精度向上が実現されます。また、検査時間の短縮や業務効率の改善が期待され、診療効率が大幅に向上します。さらに、多様な医療画像をペットオーナー様に提示し、説明の分かりやすさの向上も期待できます。これらの取り組みにより、地域の獣医療をリードする存在を目指して参ります。

### 3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- 今後更なるデジタル化を行うことで、効率・精度の双方の向上を図る
- DX化にまつわる教育を従業員全体に対して実施
- DXに関する外部専門家に協力を依頼

令和5年4月12日

#### 4. 戦略推進のための組織体制

